

# 急性骨髄性白血病に対するベネクレクタ併用治療に関する臨床データの 研究利用についてのお願い

## 研究の概要・背景

強力な化学療法が不適な高齢者の急性骨髄性白血病症例に対して、従来からの治療薬であるアザシチジンあるいは少量シタラビンをそれぞれ単独で使用する場合と比較して、新規薬剤であるベネトクラクス（ベネクレクタ）を併用した場合で長期予後が改善するという第Ⅲ相臨床試験の成績が最近報告され、日本でもベネクレクタの使用が認可された。しかしながら、実臨床においては、どのようなタイプの急性骨髄性白血病においてもっとも効果が期待できるか、あるいはその有害事象などを鑑みたうえでの適切な投与スケジュールなど、これからの検討課題だと考えられている点も多い。そのような背景で、**2021年5月以降**に当院でベネクレクタ併用治療を行った患者さまの臨床的特徴と治療効果および有害事象、経過ならびに予後について後方視的にまとめ、考察する。

## 試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

**2022年第84回**日本血液学会学術集会において、結果を発表する。

## 対象者・期間

当院において、**2021年5月から2022年8月**までの間にベネクレクタ併用治療を行った急性骨髄性白血病の**19人**の患者さま

## データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

### 【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：黒羽高志

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)